



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月14日

上場会社名 ノイルイミュン・バイオテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4893 URL <https://www.noile-immune.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 耕治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 永井 寛子 TEL 03 (5843) 7819  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	—	—	△202	—	△152	—	△153	—
2025年12月期第1四半期	2	△17.2	△241	—	△239	—	△240	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△3.54	—
2025年12月期第1四半期	△5.55	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	3,844	3,778	98.1
2025年12月期	4,011	3,931	97.8

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 3,771百万円 2025年12月期 3,925百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

当社の事業上の特性として現時点では業績に与える未確定な要素が多く、今後の見通しについては、適正かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考えており、2026年12月期の業績予想は記載しておりません。なお、今後の事業進捗を踏まえて、合理的な開示が可能となった場合には速やかに開示いたします。また、当該理由、2026年12月期の事業方針などは添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	43,301,765株	2025年12月期	43,301,765株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	125株	2025年12月期	125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	43,301,640株	2025年12月期 1 Q	43,301,747株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	5

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、「がんを克服できる社会の創生に貢献する」という企業理念の下、当社の独自技術であるPRIME (Proliferation-inducing and migration enhancing) 技術を用いた固形がんに対するCAR-TやTCR-Tなどの遺伝子改変免疫細胞療法の研究開発に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間における当社事業の概況としまして、PRIME技術を基盤とした自社創薬事業及び共同パイプラインを引き続き推進いたしました。自社創薬事業におきましては、当社パイプラインNIB103の第I相臨床試験における第1例目の患者への投与を達成いたしました。NIB103以外の自社創薬パイプラインについては、共同開発を含めたあらゆるアプローチを介して開発の推進を目指すとともに、NIB104やNIB105の早期の臨床ステージ移行に取り組んで参ります。また、当社はこれらに続く新たなパイプラインや次世代技術に関する研究について引き続き実施しております。2017年より継続している国立大学法人山口大学との共同研究においては、引き続きCAR-TやTCR-Tを中心とした次世代型遺伝子改変細胞療法、他家細胞を利用したがん免疫細胞療法、次世代型PRIME技術に関する研究を実施しております。なお、当社の取り組む事業に対しては、山口県の「令和7年度やまぐち再生医療等実用化・産業化推進補助金事業」及び宇部市の「宇部市再生医療等先端的研究開発実用化推進補助金」の支援を受けております。

共同パイプラインにおきまして、従前よりPRIME技術をライセンスしているAdaptimmune therapeutics plc, Autolus therapeutics plc及び中外製薬株式会社による研究開発が引き続き進行しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における事業収益は計上が無かった（前年同期は2,142千円の事業収益）一方で開発の継続により、営業損失は202,015千円（前年同期は241,559千円の営業損失）となりました。経常損失は山口県の「令和7年度やまぐち再生医療等実用化・産業化推進補助金事業」及び宇部市の「宇部市再生医療等先端的研究開発実用化推進補助金」にかかる補助金収入45,000千円の計上により152,827千円（前年同期は239,192千円の経常損失）、四半期純損失は153,432千円（前年同期は240,157千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は3,844,791千円となり、前事業年度末に比べ166,787千円減少しました。これは主に、現金及び預金が174,776千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債は66,284千円となり、前事業年度末に比べ13,354千円減少しました。これは主に、未払金が2,316千円、未払法人税等が12,410千円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は3,778,507千円となり、前事業年度末に比べ153,432千円減少しました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が153,432千円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、NIB103の第I相臨床試験に取り組んでおり、当該試験における第1例目の患者への投与を達成いたしました。これに引き続きNIB103の開発を推進して参ります。なお、NIB103以外の自社創薬パイプラインについては、共同開発を含めたあらゆるアプローチを介して開発の推進を目指すとともに、NIB104やNIB105の早期の臨床ステージへの移行に取り組んで参ります。また、当社はこれらに続く新たなパイプラインや次世代技術に関する研究について引き続き実施しております。共同パイプラインについては、既存のパートナーとのプロジェクトを推進するとともに、新たなパートナーとの提携を目指しております。しかしながら、当社の事業はパートナーによる事業の進展状況や新たなライセンス契約による事業収益等によって業績が大きく変動する可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,918,321	3,743,545
貯蔵品	2,154	1,744
前渡金	14,187	21,456
前払費用	21,604	18,179
未収入金	4	43
未収消費税等	26,186	30,424
その他	980	1,618
流動資産合計	3,983,440	3,817,012
固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	4,195	3,835
差入保証金	23,943	23,943
投資その他の資産合計	28,139	27,779
固定資産合計	28,139	27,779
資産合計	4,011,579	3,844,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	16,130	13,814
未払費用	31,176	31,657
未払法人税等	23,610	11,199
預り金	3,488	4,379
流動負債合計	74,405	61,050
固定負債		
資産除去債務	5,233	5,233
固定負債合計	5,233	5,233
負債合計	79,639	66,284
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,047,254	4,047,254
資本剰余金	4,025,098	4,025,098
利益剰余金	△4,147,239	△4,300,672
自己株式	△20	△20
株主資本合計	3,925,092	3,771,659
新株予約権	6,847	6,847
純資産合計	3,931,939	3,778,507
負債純資産合計	4,011,579	3,844,791

## (2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
事業収益	2,142	—
事業費用		
研究開発費	122,370	86,156
その他の販売費及び一般管理費	121,331	115,858
事業費用合計	243,702	202,015
営業損失(△)	△241,559	△202,015
営業外収益		
受取利息	2,353	4,162
補助金収入	—	45,000
為替差益	13	25
営業外収益合計	2,367	49,187
経常損失(△)	△239,192	△152,827
税引前四半期純損失(△)	△239,192	△152,827
法人税、住民税及び事業税	965	605
法人税等合計	965	605
四半期純損失(△)	△240,157	△153,432

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額の計上はありません。